

■議事概要

□日時：令和元年2月19日（水）13時30分～16時00分

□場所：生田緑地整備事務所2階 □参加者：13名

□議題：1. 市民部会報告と事務局承認 2. 地形・地質に関する解説板について 3. 枅形山のソメイヨシノ等更新について 4. 枅形山園路水道工事に伴う舗装部材について 5. 生田緑地の自然モニタリングについて 6. 奥の池の日干し作業状況報告 7. その他

■今回の協議事項

1.市民部会報告と事務局承認

- かわさき自然調査団より令和元年度における活動報告が行われた。この活動報告をもって令和二年度も、かわさき自然調査団が、市民部会事務局として活動を継続。自然会議により承認された。

2.地形・地質に関する解説板について

- 前回の自然会議に引き続き、会長より提案のあった地形・地質に関する解説板の在り方について、意見交換がなされた。
 - ・現在、かわさき宙と緑の科学館が行っている学生向けの地層観察会以外に、生田緑地観察会も行われている。
 - ・さらなる情報を求める来場者は、科学館に来館することで、より詳しい地層に対しての知見が得られる。
 - ・土壌の過剰採取という問題も考慮し、生田緑地の魅力を伝えるツールとしての解説板の必要性の有無を含めたやり取りが行われた。（継続審議）



3.枅形山のソメイヨシノ等更新について



- 枅形山のソメイヨシノの老齢化に伴う、世代交代を視野に入れた、皆伐更新の在り方についての意見交換が行われた。
- 整備事務所の考え方
 - ・枅形山広場は現在、ソメイヨシノが植栽されている。市民の集まる場所でもあるので、ソメイヨシノの更新を考えたい。
 - ・桜を植えるにあたって、募金を行う等、市民を巻き込んでいける手法も検討したい。
 - ・枅形山以外の場所のソメイヨシノについても、植え替えの有無を含め、考えていきたい。（継続審議）

4.枅形山園路水道工事に伴う舗装部材について

- ・枅形山の尾根道における水道管の入れ替え工事に伴い、A、B、C、D、E、と5つの場所で実施予定の舗装工事について、整備事務所から現状報告が行われた。
- ・B、D、の2地区では道幅に対して舗装が半分しかなされていないため、来園者の歩行しやすさを考えた道幅の拡張を工事担当課へお願いしようと考えている。
- ・平日は科学館が学校関係のイベント、週末は生田緑地観察会が行われていることに配慮する。
- ・自然環境に配慮し、アスファルトではなく、コンクリート舗装を水道局に対して要望する。
- ・A区間については、舗装材の種類に関わらず、排水方向を考慮する。

杵形山園路水道工事 施工場所



・A区間（排水方向を考慮する）



※B,D両地区については現況復旧予定だが、C区間の幅（約1.1m→約2m）に合わせた舗装を上下水道局に要望していく。

・B区間 エコート舗装



・C区間

現況復旧予定



・D区間



・E区間



5.生田緑地の自然モニタリングについて

- 副会長から自然モニタリングについて提案がなされた。
 - ・これまで、定期的に行われてきた生田緑地の自然に関する調査に加えて、そこで得られたデータに定期的な分析作業をプラスしていけないか？得られた結果を自然会議、マネジメント会議全体で共有していく。
 - ・生田緑地の自然について共通認識を得るような話し合いの場としても、自然会議を活用していく。
- 会長からは、自然会議の協議の中に、「生田緑地の自然の現況について」という項目を定例化はしてはどうか？という提案がなされた。植栽管理についての意見交換が出来る時間を会議の中に設ける。
- 生田緑地の自然全般についての観察事項を定例項目として設け、長期的、広範囲な調査を含めたモニタリングの在り方についても、幅広く検討していく旨が話し合われた。
(継続審議)

6.奥の池の日干し作業状況報告

- 指定管より奥の池の日干し作業の状況報告が行われた。1月の長雨の影響で、昨年度より土が乾きにくい状況が続いている。計画当初、2月末で注水を再開する予定であったが、3月中旬まで日干し作業の延長を報告。

7. その他（整備事務所）

- 指定管より、公益社団法人 都市緑化機構が実施している都市緑化技術研修会の参加報告が行われた。自然会議内で回覧された資料は緑地整備事務所にて保管。閲覧可能。
- 雑木林を育てる会より、ツツジ山に移植されたヤマザクラの成長報告が行われた。
- 整備事務所から、合議の得られた生田緑地植生管理計画の最新版が配布された。

公益社団法人 都市緑化機構
都市緑化技術研修会
自然災害への対応と都市緑化

参加報告

令和2年1月23日・24日
於：国立オリンピック記念青少年総合センター
参加者：生田緑地共同事業体 越智

ヤマザクラのモニタリング報告

2020.2.19 雑木林を育てる会

1.ツツジ山 B3地区（昨年度 実生苗移植先）

番号	2019.2.1	2020.2.9	伸長率	
20	45	128	284%	
22	45	147	327%	
34	75	240	320%	中央・日当たり良好
36	45	141	313%	
37	45	166	369%	

2.ツツジ山 B2地区（本年度 実生苗移植先）

番号	2019.2.1	2020.2.9	伸長率	
4	40	57	143%	近接株があるため採取
7	20	65	325%	日当たり良好 近接株あり
13	43	65	151%	日陰
17	63	110	175%	近接株があるため採取
42	30	65	217%	日陰

3.長者穴 東側（実生苗採取を行った場所） 主要な現状維持分

番号	2019.2.1	2020.2.9	伸長率	
1	90	130	144%	
18	95	150	158%	
21	80	140	175%	
23	85	155	182%	
24	90	125	139%	
32	115	143	124%	
30	190	240	126%	
35	73	80	110%	谷底 日陰

■今後の予定

- 第1回：令和2年5月下旬予定（※新型コロナウイルス感染症対策を鑑み日程の変更あり。）